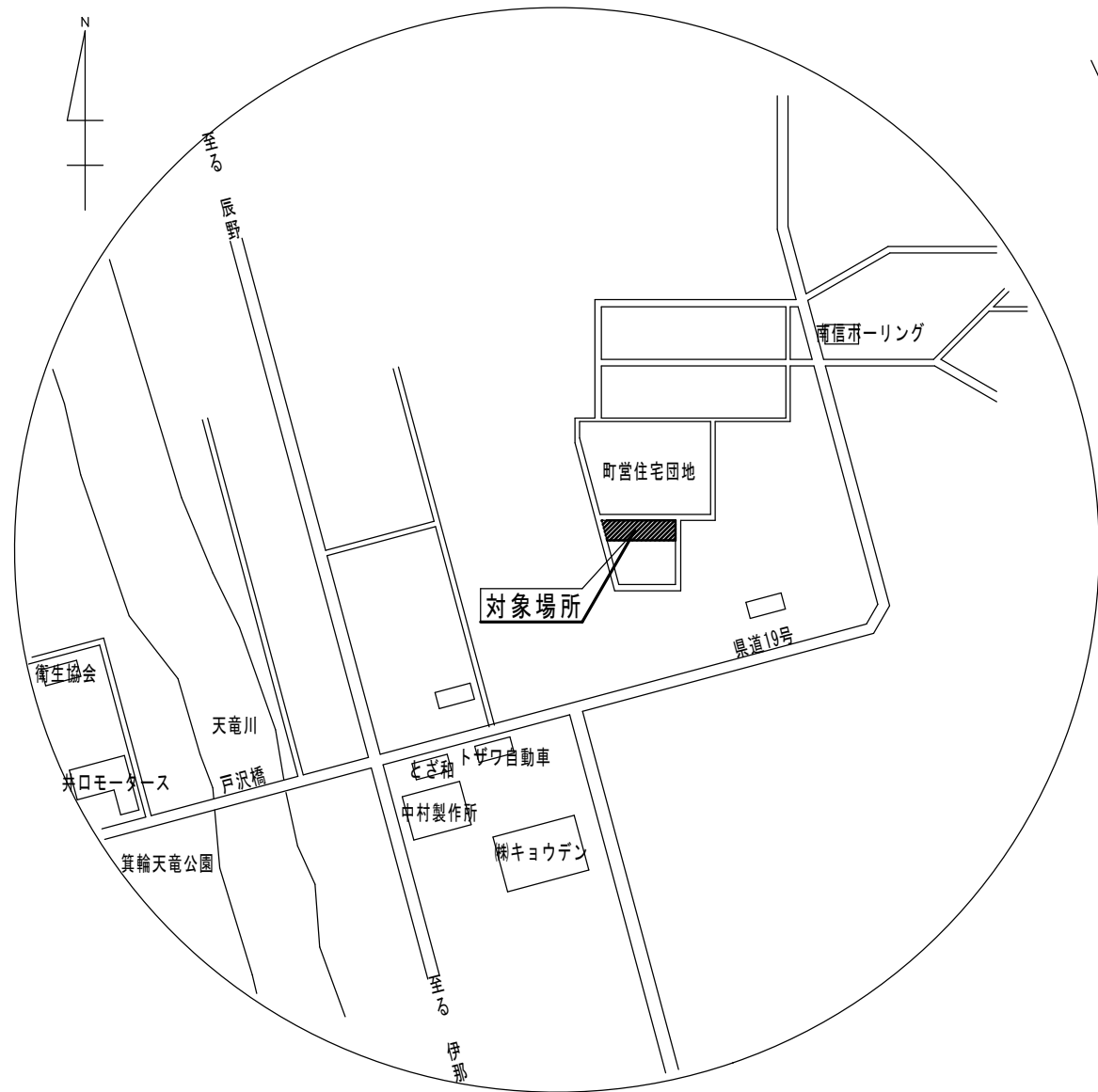


令和 2 年度 長岡住宅団地屋根改修工事  
(77～86号室)  
令和 2 年7月

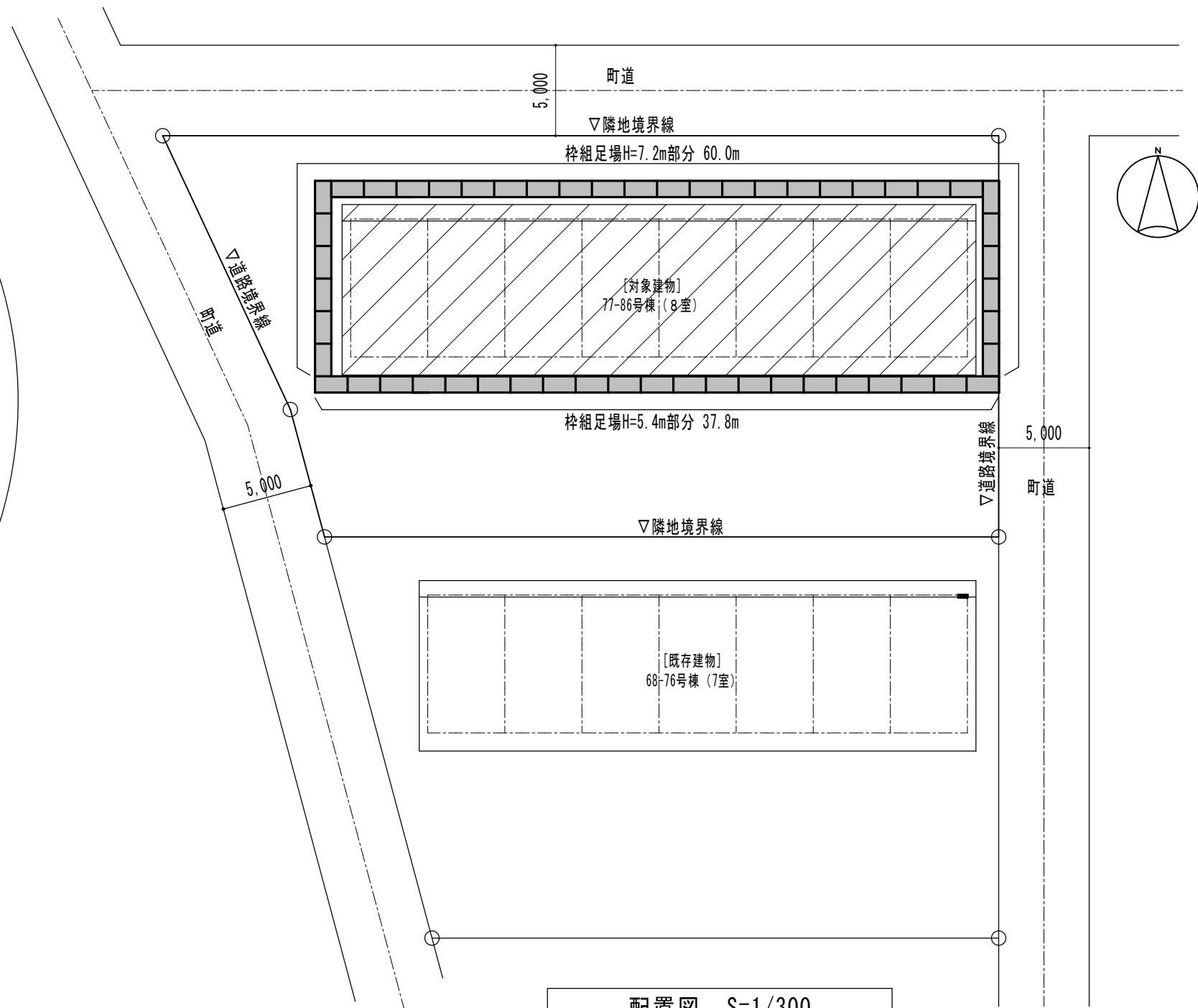
図 面 リ ス ト		
図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
A－0 1	改修特記仕様書 1	
A－0 2	改修特記仕様書 2	
A－0 3	配置図・案内図	1/300
A－0 4	屋根伏図・部分詳細図	1/120・15
A－0 5	立 面 図	1/150



案内図 non scale

施工条件

- ・本工事は運用中の共同住宅であり、居住者に対する配慮が特に求められるため、工事の際には居住者側及び建物管理者と十分な連絡及び協議を行うこと。
- ・工事のために敷地内を工事作業用地として利用する場合は居住者及び建物管理者と協議を行うこと。
- ・工事は建物を使用しながらの工事のため、工事範囲、工程等、施設管理者等を含めて十分な協議をした上で、実工程表を提出して監督員の承諾を得ること。
- ・大きな騒音の発生する作業は、原則として、休日、時間外に計画すること。ただし、居住者に支障がないとして、施設管理者の承諾を得た場合にはその限りではない。
- ・本工事の施工に際し、敷地内への機材等の搬入出は、居住者に迷惑が掛からないよう十分に注意すること。
- ・登下校時・出退勤時間帯と工事車両の通行が重複しないように時間帯の分離を図ると。



配置図 S=1/300

- ・ 工事対象建物を示す。
- ・ 足場部分を示す。  
桢組足場W900 H7, 200  
W900 H5, 400

工事概要

- ・ 既存屋根材を下地とし、新たな屋根材をかぶせるカバー工法を採用する。
- ・ 新たな屋根材の固定方法は金物によるキャッチ工法とする。
- ・ 新たな屋根材の設置に伴い、既存破風・鼻隠しもカバー工法にて施工する。
- ・ 軒樋及び2階部分のみ縦樋を既存撤去し、新たに施工する。

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	SHEET NO.
	仮称) 令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 長岡住宅団地屋根改修工事	案内図・配置図	1 / 300	2020年7月		A-03

令和２年度　長岡住宅団地屋根改修工事（77～86号室）		11. 化学物質の濃度測定		測定方法　※ﾊﾞｯﾌﾟ法（拡散法）　・ﾌｳｳｲﾝｸﾞ法（吸引法）　[1. 5. 9]		2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。　[2. 3. 2] [表 2. 3. 1]		6　改質アスファルトシート防水		防水層の種類		[3. 4. 2]			
Ⅰ　工事概要		Ⅱ　建築改修工事仕様		② 完成図等		3　仮設間仕切り		1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示 2）仮設間仕切りの種別と材質等		改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3iによる ・貼着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3iによる ・断分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3iによる ・脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による ・押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による		[3. 5. 2] [表 5. 1. 2]			
1. 工事場所　　長野県　箕輪町　大字　東箕輪		2. 敷地面積（㎡）		3. 工事種目　　既存屋根改修（カバー工法）		4. 監督職員事務所		5. 工事用水 ⑥ 工事用電力		5. 防水改修工事		7　合成高分子ルーフィングシート防水			
3. 工事種目　　既存屋根改修（カバー工法）		4. 監督職員事務所		5. 工事用水 ⑥ 工事用電力		5. 防水改修工事		7　合成高分子ルーフィングシート防水		8　塗膜防水					
建物別		種別		構造		階数		梁間(m)		桁行(m)		建築面積(㎡)		延面積(㎡)	
77-86号棟		模塊様		PC造		2　階								505. 51	
Ⅱ　建築改修工事仕様		Ⅲ　防水改修工事		Ⅳ　断熱材		Ⅴ　仕上り		Ⅵ　高日射反射率防水の適用		Ⅶ　備考					
1. 共通仕様		2. 特記仕様		3. 断熱材		4. 仕上り		5. 高日射反射率防水の適用		6. 備考					
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修仕様」という。 )による。 また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準」という。 )、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。 )による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示記号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の< . . . >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修仕様」という。 )による。 また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準」という。 )、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。 )による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示記号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の< . . . >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		断熱材の種類		仕上り		高日射反射率防水の適用		備考					
1. 共通仕様		2. 特記仕様		3. 断熱材		4. 仕上り		5. 高日射反射率防水の適用		6. 備考					
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修仕様」という。 )による。 また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準」という。 )、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。 )による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示記号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の< . . . >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修仕様」という。 )による。 また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準」という。 )、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。 )による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示記号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の< . . . >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		断熱材の種類		仕上り		高日射反射率防水の適用		備考					
1. 共通仕様		2. 特記仕様		3. 断熱材		4. 仕上り		5. 高日射反射率防水の適用		6. 備考					
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修仕様」という。 )による。 また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準」という。 )、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。 )による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示記号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の< . . . >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修仕様」という。 )による。 また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準」という。 )、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。 )による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示記号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の< . . . >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		断熱材の種類		仕上り		高日射反射率防水の適用		備考					
1. 共通仕様		2. 特記仕様		3. 断熱材		4. 仕上り		5. 高日射反射率防水の適用		6. 備考					
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修仕様」という。 )による。 また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準」という。 )、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。 )による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備															

7造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外  
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級: )	・適用する ・適用しない	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し( )	・適用する ・適用しない	※14%以下	・

・構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※12	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	( ) ・	・

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	※15		※13タイプ	※P又はM	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

9接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難燃発性のものとする。  
ホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外

・防虫、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材  
適用部位: ( )

・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K2・K3・K4
	・K2・K3・K4
	・K2・K3・K4

・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7～11による
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7～11による
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7～11による

・ボード原料接着材への薬剤混入による防虫、防蟻処理  
適用部位 ( )

11軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類  
屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形)  
・屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない  
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔・図示  
周辺部の端からの間隔・図示  
野縁の間隔・図示

既存の埋込みインサート・使用する・使用しない  
あと施工アンカーの引抜き試験・行う(屋外の場合の方法: )  
・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合  
補強方法 ※図示

・天井のふとこりが1.5m以上3.0m以下の場合  
補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による

・天井のふとこりが3.0mを超える場合  
補強方法 ※図示

・天井下地材における耐湿性を考慮した補強  
補強箇所 ※図示  
補強方法 ※図示

スタッド、ランナーの種類  
※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

12軽量鉄骨壁下地

7フロアリング張り

単層フロアリング

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・フロアリングボード	・釘留め工法(根太張り)	※なら	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法(直張り)	※なら	12以上	板幅75 板長さ300以上		・
	・接着工法	※なら	12以上	板幅75 板長さ300以上		・
・フロアリングブロック	・接着工法	※なら	15	203×303	・塗装品 ・無塗装品	・
	・モルタル埋込工法	※なら	※15	※303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
・ゼイバーカット	・接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・

天然木化粧複合フロアリング

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上	間伐材等の適用
・複合1種フロアリング	・釘留め工法(根太張り)	※なら		・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
・複合2種フロアリング	・釘留め工法(直張り)	※なら					・
・複合3種フロアリング	・接着工法	※なら	板厚 ・8以上 ・板幅 ・75以上 ・板長さ ・900以上				・

フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外  
接着工法の場合の繊維材 ※合成樹脂発泡シート  
現場塗装仕上げ・行う(施工箇所: )  
※ウレタン樹脂ワニス塗り  
・オイルステインの上、ワニス塗り  
・生地のままワニス塗り  
・行わない

6.12.2

種別	A種	B種	C種	D種(畳床:・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
下地の種類	・標準仕様書 表12.6.1による床組			・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

6.13.2～3

種類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15・20・25・
・中質木毛セメント板	MW	・15・20・25・
・普通木毛セメント板	NW	・15・20・25・
・硬質木片セメント板	HF	・12・15・18・21・
・普通木片セメント板	NF	・30・
・けい酸カルシウム板(フレキシブルボード)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿) 6・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ(・9(不燃)・12・) ・凹凸タイプ(・12(不燃)・15・19・)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25・
・グラスウール吸音ボード号32K	GW-B	・25(5%202包)
・せっこうボード	GB-R	・12.5(不燃)・15(不燃)
・不燃難燃せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)化粧無(下地張り用) 化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃)・15(不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃)幅400mm 模様(・柱目・板目)専用下地材有り
・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	GB-D	9.5(準不燃)
・普通合板		表面の材種 生地、透明塗料塗り(※初工程) 不透明塗料塗り(※1工程) 板面の品質( ) 厚さ(mm)( ) 接合の程度( ) ・防虫処理・難燃処理・防火処理
・天然木化粧合板		樹種名( ) 厚さ(mm)( ) 接合の程度( ) ・防虫処理・難燃処理・防火処理
・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法(・オーバーレイ・ブリスト・塗装) 表面性能( )タイプ 厚さ(mm)( ) 接合の程度( ) ・防虫処理・難燃処理・防火処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による(※1.2・)
・メラミン樹脂化粧板		・メラミン樹脂化粧板
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3・7・9・12
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN・研磨板VS ・10・12・15・18
・化粧パーティクルボード		・単板パーティクルボードV・パーティクルボードDO ・塗装QC ・10(難燃)・12(難燃)・
・ハードボード(素地)	HB	・未研磨板(・パーティクル・パーティクル)RN ・研磨板(・パーティクル・パーティクル)RS
・ハードボード(化粧)		・内装用D1・外装用D2 ・2.5・3.5・5・7
・インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上・内装仕上・) ・9・12・15・18

20畳敷き

21せっこうボードその他のボード張り

22壁紙張り

7塗装改修工事

1材料

2下地調整

3錆止め塗料塗り

4塗装

せっこうボード等の下地は図示による。  
適宜シール材  
・適用する(・シーリング材・ジョイントコンパウンド)  
・適用しない  
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外  
合板類の張付け ※B種・A種  
せっこうボードの目地工法  
・仕上げ表による

6.14.2～3

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所	紙	繊維	ガラス	無機質	その他	防火種別	備考
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

モルタル・プaster一面の下地調整 ※B種  
コンクリート・ALC面の下地調整 ※B種  
せっこうボード面の下地調整 ※B種

7.1.3

7.2.2～7

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外  
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )

塗替えR種の場合の塗替えの除去範囲  
※塗替え面積の30%・図示

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※R種	・R種・R種	・
鉄鋼面	※R種	・R種	
垂れめっき面	※R種	・R種	
垂れめっき面(鋼製建具)	※R種	・R種	
モルタル、プaster一面	※R種	・R種・R種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※R種	・R種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面	・	・R種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※R種	・R種・R種	-

7.3.2～3

錆止め塗料塗りの種別

	塗装面	塗料	工程
	鉄鋼面	EP-G以外 新規格鋼面見え掛り 新規見え隠れ	A種 A種 A種
垂れめっき面	EP-G以外 新規格鋼面見え掛り	B種 B種	※A種 ・ ※B種 ・
	EP-G 新規見え隠れ	※A種 C種	※C種 ・ ※C種 ・

塗装の種類

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂塗合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	・ ※A種
塗料の種類 ※1種・2種	木部屋内	※B種	・ ※B種
	鉄鋼面	※B種	・ ※B種・A種
	垂れめっき鋼面(鋼製建具)	※A種	・ ※B種
	垂れめっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	・ ※B種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種・A種	・ ※A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		-	-
・アクリル樹脂系非分散型塗料塗り(NAD)		※B種・A種	・ ※B種・A種
・耐水性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級( )級	・	A種
	垂れめっき鋼面	・	A種
	上塗り等級( )級	・	
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	・ ※B種・A種
	屋内の木部	※B種	・ ※A種
	屋内の鉄鋼面	※B種	・ ※B種・A種
	屋内の垂れめっき鋼面	※B種	・ ※B種・A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種	・ ・
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・ ・ ※B種・A種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)		※B種・A種	・ ・ ※B種・A種
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種・A種	・ ・ ※B種・A種
・オイルステイン塗り(OS)		-	-
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種・A種	・ ※B種・A種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、鉄鋼面、ガラス面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり  
※改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りをしきりシーラーとする  
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり  
※改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りをしきりシーラーとする

・高日射反射塗料塗り(5)  
下地調整(改修標準仕様書7.2.2)・R種・R種・R種

工程	塗料その他				塗付量(kg/m)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	耐候性 屋根用塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

MEMORANDUM

TITLE

令和2年度 長岡住宅団地屋根改修工事

改修工事特記仕様書(2)

ITEM

SCALE

DATE

2020年7月

CHECK-DRAWING

創和

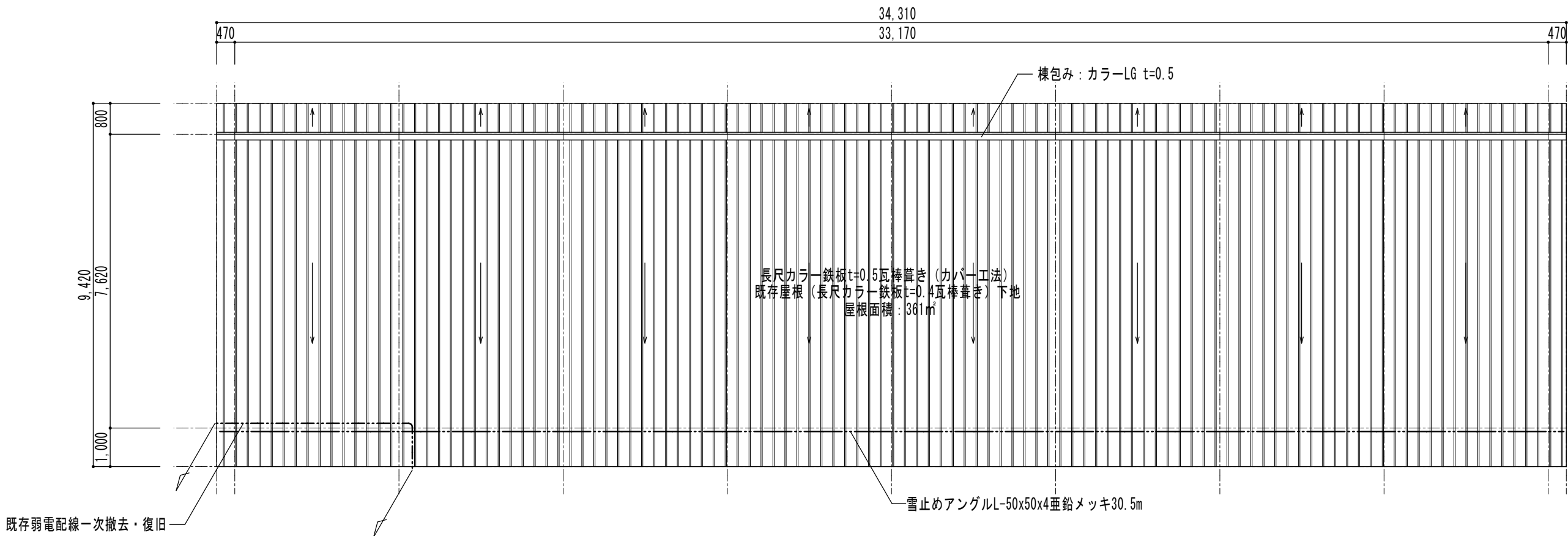
株式会社 創和設計

長野県上野原町新町2674-1 TEL0265-79-1222(代)  
長野県塩尻市大門南町509 TEL0263-52-8972(代)  
一級建築士 大臣登録 第352433号  
一級建築士事務所登録(伊那) G第37121号

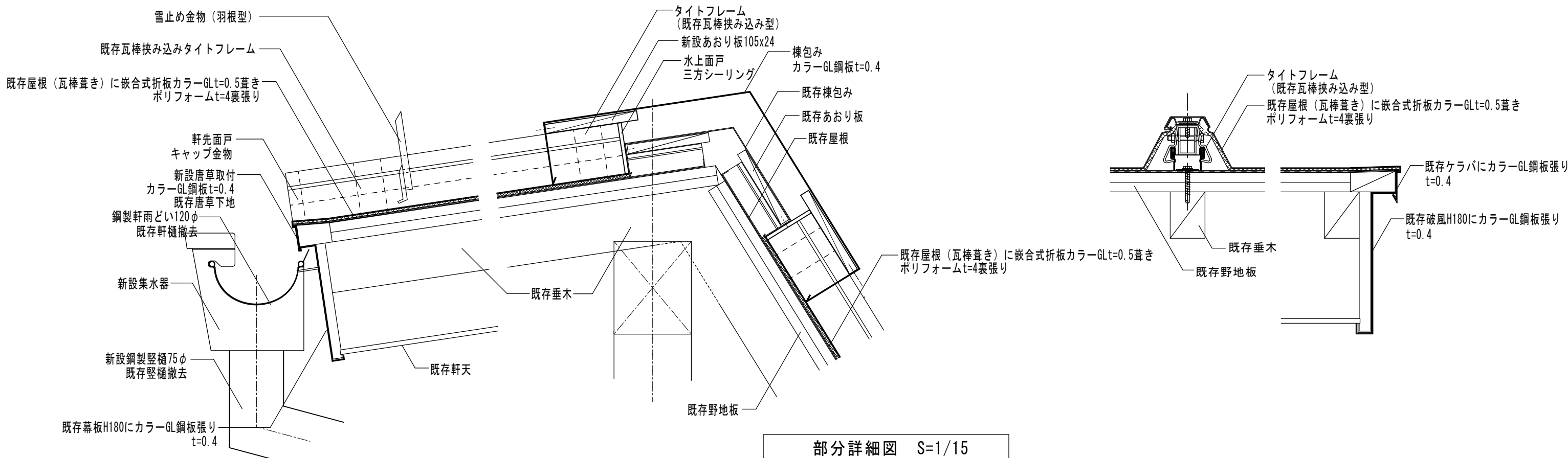
小 河 豪

SHEET NO.

A-02



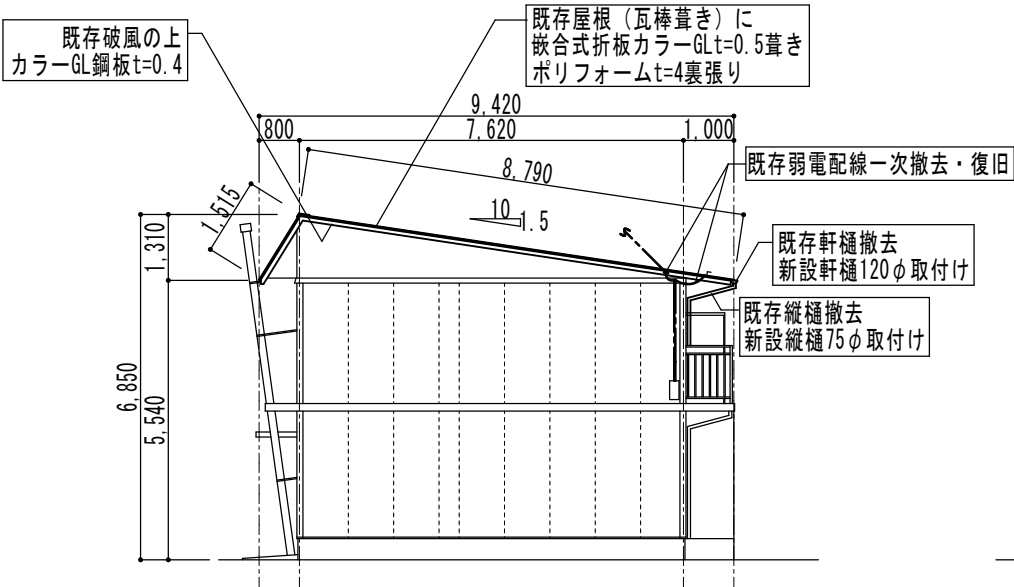
屋根伏図 S=1/120



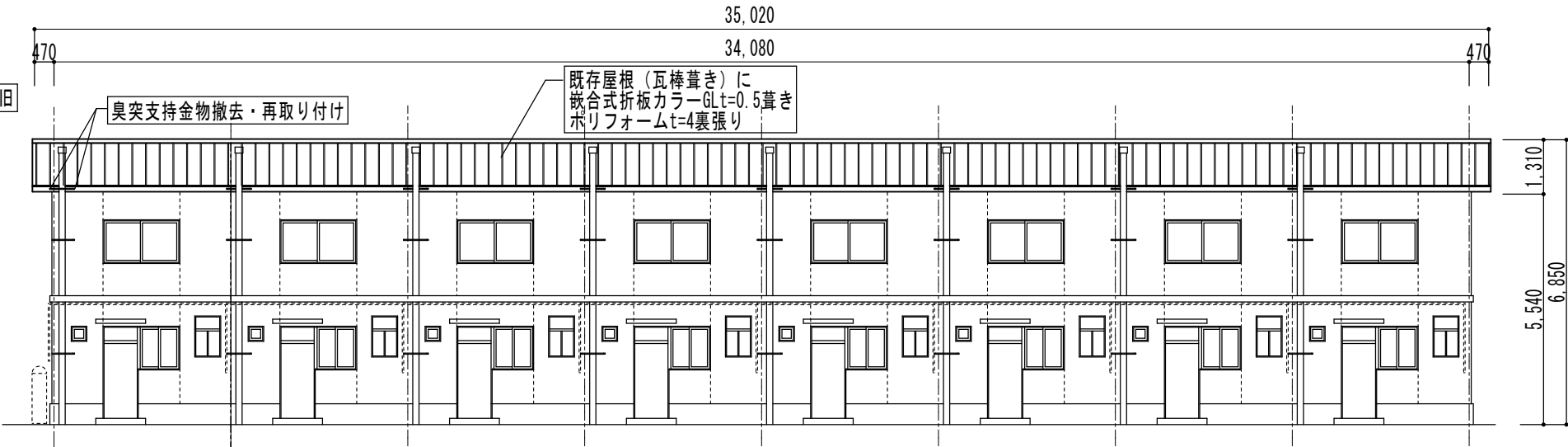
部分詳細図 S=1/15

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	SHEET NO.
	令和2年度 長岡住宅団地屋根改修工事	屋根伏図・部分詳細図	1/15 1/120	2020年7月		A-04
	(77～86号室)					

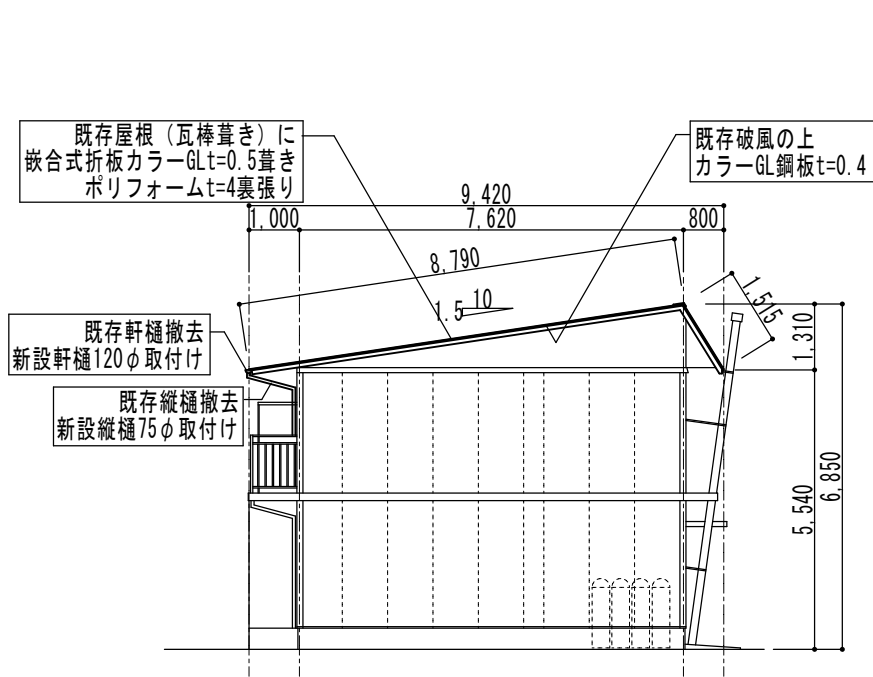




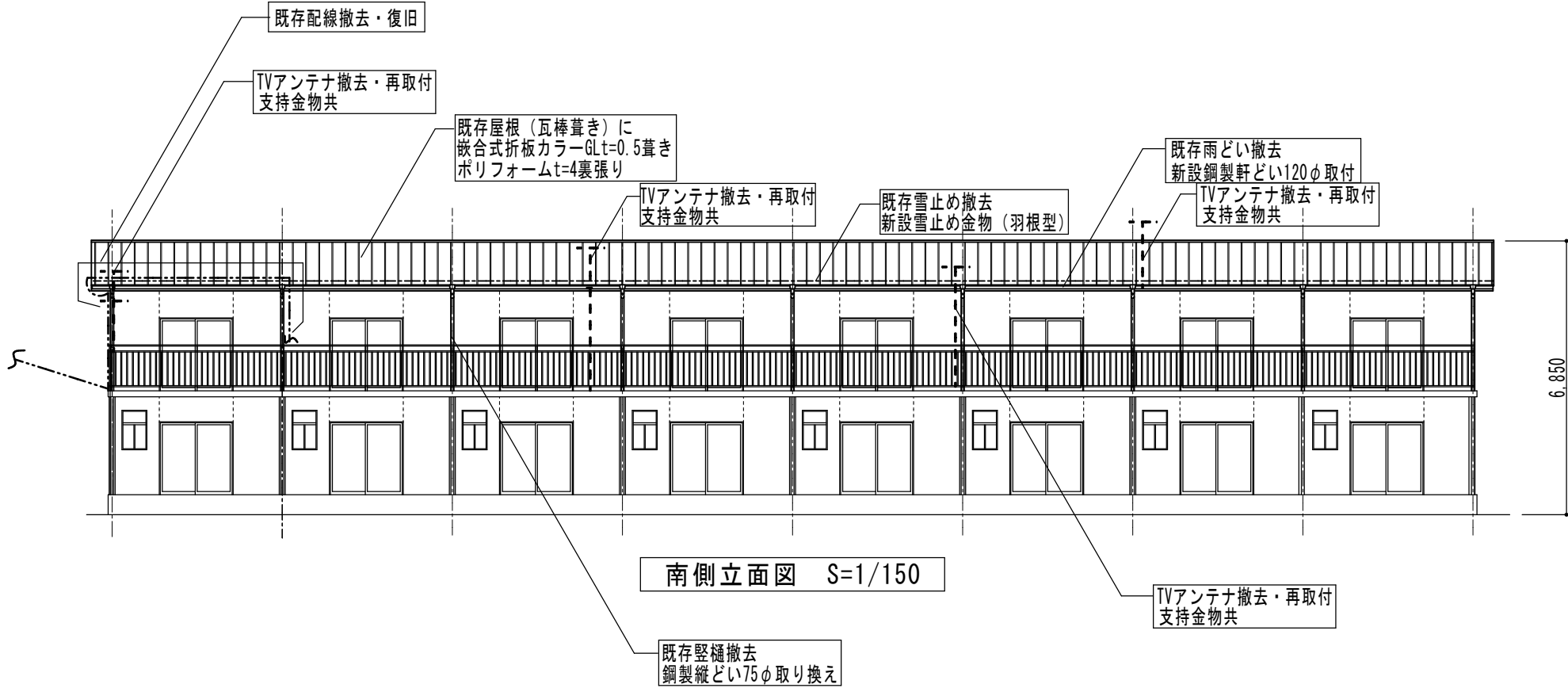
西側立面図 S=1/150



北側立面図 S=1/150



東側立面図 S=1/150



南側立面図 S=1/150

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	SHEET NO.
	令和2年度 長岡住宅団地屋根改修工事	立面図	1/150	2020年7月		A-05
	(77~86号室)					